

# カキ生育情報

千葉県  
平成28年7月号

## 平成28年6月の気象

平成28年6月の半旬別の気象を表1に示した。平均気温は、第1及び第6半旬を除く4半旬で平年を上回った。月平均気温は21.0℃で、平年より0.2℃、前年より0.6℃高かった。

降水量は第3と第5半旬で平年を上回った。月合計は273mmで、平年の111%、前年の119%であった。

日照時間は第2及び第5半旬を除く4半旬で平年と同じか上回り、月合計は137時間で、平年の103%、前年の102%であった。

梅雨入りは6月5日ごろとされ、これは平年より3日早く、前年より2日遅い。

表1 平成28年6月の気象（暖地園芸研究所）

半旬	平均気温(℃)			降水量(mm)			日照時間(hr)		
	本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
1	19.2	19.7	20.2	2	27	87	36	29	32
2	20.3	20.0	18.9	16	40	95	21	26	19
3	20.9	20.3	20.8	49	44	24	26	22	12
4	22.6	21.1	19.9	11	47	12	23	20	20
5	22.1	21.4	21.5	161	49	2	12	18	34
6	21.0	22.3	22.4	36	40	11	19	19	17
平均/計	21.0	20.8	20.4	273	246	229	137	133	134

## 樹及び果実の生育

6月末のカキの果径を表2に示した。横径は「西村早生」と「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ4.04cm、4.21cm、「富有」が4.11cmであった。本年の横径は平年に比べ、「西村早生」は17%、「松本早生富有」は13%、「富有」は19%、それぞれ大きかった。

縦径は「西村早生」と「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ3.12cm、3.18cm、「富有」が3.11cmであった。本年の縦径は平年に比べ、「西村早生」及び「松本早生富有」は14%、「富有」は12%、それぞれ大きかった。

果形指数は「西村早生」と「松本早生富有」が2地区の平均でみるとそれぞれ1.30、1.32、「富有」が1.32であった。本年の果形指数は「松本早生富有」は平年並みであったが、「西村早生」及び「富有」は平年より大きく横長の傾向であった。

本年の果実の発育は3品種ともに平年よりやや進んでいる。生理落果は市原市の「松本早生富有」は多く、他の調査地では平年並みである。着果量はいすみ市の「西村早生」は雄花が多かったため少なく、他の調査地では平年並みである。

表2 果実の生育（6月30日の果径）

品 種	調 査 地	横 径 (cm)			縦 径 (cm)			果形指数		
		本年	平年	前年	本年	平年	前年	本年	平年	前年
西村早生	いすみ市	4.00	3.38	3.63	3.06	2.71	2.78	1.31	1.25	1.31
	暖地園研	4.07	3.44	4.15	3.17	2.69	3.17	1.28	1.28	1.31
	平 均	4.04	3.44	3.89	3.12	2.73	2.98	1.30	1.26	1.31
松本早生	市原市	4.24	3.82	4.13	3.29	2.75	2.86	1.29	1.39	1.44
	富 有 暖地園研	4.17	3.57	4.43	3.07	2.83	3.22	1.36	1.26	1.38
	平 均	4.21	3.72	4.28	3.18	2.79	3.04	1.32	1.33	1.41
富 有	暖地園研	4.11	3.46	4.07	3.11	2.78	3.06	1.32	1.24	1.33

果形指数：横径／縦径

平年：暖地園研は1990年～2015年の平均、いすみ市、市原市は1998年～2015年の平均

## 7～8月の作業

### 摘 果

「西村早生」では、果頂部が凹んでいる果実や部分的な生育不良により不整形になった果実は、渋果の恐れがあるので摘果する。なお、8月中旬頃と収穫前の9月にも、渋果を樹上選別するための摘果を行うので、7月の時点では目標着果数(10a当たり12,000果)より2割程度多め(10a当たり14,000～15,000果)に果実を残しておく。

なお、いずれの品種も目標着果数を下回る場合は、樹勢のバランスを保ち隔年結果を助長しないようにするため、病虫害被害果の除去など必要最小限の摘果にとどめる。

### 枝管理

不定芽(陰芽)が発生する場合は、枝葉が込まないよう芽かき、摘心を行う。また、枝葉が込み合っているところや葉が傷んでいる場合も、病害の発生を抑え、枝の充実を図るため、枝や葉を間引きして風通しを良くする。特に、炭疽病の発生した軟弱な枝は必ず摘除する。なお、2次伸長枝はこの時期は放任する。

枝葉が少ない場合は徒長枝等もせん除せず、ねん枝や誘引によって葉数確保に努める。

### 病虫害防除

7月から9月上旬は、炭疽病、落葉病、うどんこ病及びカキノヘタムシガの防除時期である。ただし、「西村早生」などの極早生品種では、安全使用基準に留意するとともに、使用する薬剤によっては薬害が生じるので十分注意する。

カキノヘタムシガの2回目の幼虫の食害が始まるため、8月中旬に防除を行う。なお、カメムシ類の発生が多い場合は、8～9月が防除適期となる。

防除に際しては、千葉県農作物病虫害雑草防除指針を参考に行う。

なお、表の数値は、表示単位未満を四捨五入したため、合計値と内訳の計が一致しない場合がある。

### 《 生育情報の問合せ先 》

千葉県農林総合研究センター 暖地園芸研究所 特産果樹研究室 電話 0470-22-2961  
※果樹の生育情報は「ちばの農林水産業」の「生育情報」でも御覧いただけます。

<http://www.pref.chiba.lg.jp/seisan/seiiku/index.html>